

技術講習会のご案内

『圧入工法設計・施工指針 -2020年版-』技術講習会
第2回福岡会場

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

圧入工法は、振動や騒音を最小限に抑え、既存施設に隣接して杭／矢板の施工が可能で、用地の制約、社会環境の保全、工程の順守などの昨今の建設業界が抱える問題を解決できる工法です。この圧入工法に関して、設計および施工の実務的観点から技術普及を促進させることを目的とした「圧入工法設計・施工指針-2015年版-（国際圧入学会、2015年）」が発刊されました。同指針は設計・施工の実務において現在も広く活用されています。

このたび、改訂版にあたる『圧入工法設計・施工指針-2020年版-（国際圧入学会、2020年）』が発刊されたことをうけ、全国圧入協会は、国際圧入学会と共同で建設コンサルタンツ協会認定のCPDプログラム『圧入工法設計・施工指針-2020年版-』技術講習会 第2回福岡会場を開講します。

本講習会においては、同指針をもとに改訂のポイント、実務への活用等を章ごとに解説します。

今後、圧入工法の使用を検討する発注者、設計者、建設現場での実務者にとって有益な講演内容であると確信しております。ご多忙中とは存じますが、お繰り合わせの上、ご参加願いますようお願い申し上げます。

敬 具

記

- ◇ 主 催 一般社団法人 全国圧入協会（JPA）、国際圧入学会（IPA）
- ◇ 後 援 公益社団法人 土木学会、公益社団法人 地盤工学会、
一般社団法人 鋼管杭・鋼矢板技術協会、一般社団法人 建設コンサルタンツ協会、
一般社団法人 日本建設機械施工協会、株式会社 技研製作所、株式会社 技研施工
- ◇ 講習会名 『圧入工法設計・施工指針 -2020年版-』技術講習会 第2回福岡会場
- ◇ 開催日時 ① 2020年7月31日（金）CPD番号：202003250016（CPD 2.5単位）
講習時間 13：30～16：20 受付開始 13：00～
- ◇ 開催場所 福岡県教育会館 3F 第2会議室（4ページの案内図を参照して下さい）
- ◇ 受講料 ￥7,500 ※入金後の受講料は返金いたしません。
- ◇ 配布資料 『圧入工法設計・施工指針 -2020年版-』（1セット、定価6,000円）を会場で配布します。
- ◇ 申込方法 全国圧入協会ホームページの『圧入技術講習会（<http://www.atsunyu.gr.jp/event/>）』からお申込みください。ウェブ登録後、受講料のお振込みにするメールが自動配信されます。
その後、受講料のお振込みを確認次第、登録完了に関するメールでの通知をいたします。
- ◇ 申込期限 2020年7月20日（月）12：00まで
※定員（80名）になり次第締め切ります。
※受講料のお支払い期限 7月21日（火）15：00 銀行振り込みに限る
- ◇ 問合せ先 全国圧入協会（JPA）事務局 戸田・森脇
Tel. 03-5781-9155（平日9時～17時、土日・祝祭日除く）
Email jpa@atsunyu.gr.jp Website www.atsunyu.gr.jp

圧入工法設計・施工指針 -2020年版-



編集： 圧入工法設計・施工指針 -2020 年版- 編集委員会

編集委員： 委員長

日下部 治 (IPA会長)

東京工業大学 名誉教授, 地盤工学会 名誉会員

副委員長

菊池 喜昭 (IPA理事), 東京理科大学 教授

委員

松本 樹典 (IPA副会長), 金沢大学 教授

竹村 次朗 (IPA 理事), 東京工業大学 准教授

神田 政幸 (IPA 理事)

公益財団法人 鉄道総合技術研究所

構造物技術研究部 部長

土橋 浩

首都高速道路 株式会社 執行役員

緒方 辰男

株式会社 高速道路総合技術研究所

道路研究部 橋梁研究担当部長

他 9名

幹 事： 10名

発 刊： 国際圧入学会 (International Press-in Association)

発刊年月： 2020年3月

判 型： A4版 上製本 分冊形式 (指針, 参考資料)

頁 数： 指針 (233頁), 参考資料 (306頁)

・ 圧入工法設計・施工指針 -2020年版-

第1章 総説

- 1-1 適用の範囲
- 1-2 指針の構成
- 1-3 圧入工法
- 1-4 根入れ構造物への反力杭方式の
圧入工法の適用例
- 1-5 関連する基準、指針など

第2章 計画・調査

- 2-1 計画
- 2-2 調査

第3章 設計指針

- 3-1 自立式の土留め構造物の設計
- 3-2 構造細目

第4章 施工指針

- 4-1 施工概要
- 4-2 施工計画
- 4-3 施工
- 4-4 施工監理、圧入施工管理、モニタリング

・ 圧入工法設計・施工指針【参考資料】

参考資料Ⅰ (研究に関する事項)

- I-1 圧入工法の特徴に関する研究
- I-2 杭／矢板で構築される構造物の性能に
関する研究
- I-3 参考文献

参考資料Ⅱ (設計に関する事項)

- Ⅱ-1 自立式土留め擁壁の設計計算例
- Ⅱ-2 その他の適用事例

参考資料Ⅲ (施工に関する事項)

- Ⅲ-1 圧入工法の詳細施工事例
- Ⅲ-2 日本における施工事例
- Ⅲ-3 海外における施工事例
- Ⅲ-4 NETIS 登録技術
- Ⅲ-5 サイレントパイラー一覧表
- Ⅲ-6 クランプクレーン一覧表
- Ⅲ-7 周辺機器
- Ⅲ-8 止水が必要な場合の杭間処理
- Ⅲ-9 堤防被災箇所の圧入工法による
復旧対策技術に対する手法
- Ⅲ-10 建設工事の評価手法

技術講習会 プログラム

1. 「圧入工法設計・施工指針」改訂のポイント

2. 「圧入工法設計・施工指針」解説

第1章 総説

第2章 計画・調査

第3章 設計指針、参考資料Ⅰ・Ⅱ

～～～ 休憩 ～～～

第4章 施工指針、参考資料Ⅲ

3. 質疑・応答

13 : 30 ～ 16 : 20 (内、休憩時間を除く150分)

『圧入工法設計・施工指針-2020年版- (国際圧入学会、2020年)』改訂のポイント

- ① 改訂された「港湾の施設の技術上の基準・同解説 (公益社団法人 日本港湾協会、2018年)」および「道路橋示方書 (公益社団法人 日本道路協会、2017年)」の記述内容との整合性を図る。
- ② 英文書籍 Press-in retaining structures: a handbook (国際圧入学会、2016年) との整合性を図る。
- ③ 直近5年間の圧入機器の機能および活用方法、研究成果の進展を反映させる。
- ④ 新規の施工事例を採用するとともに、事例をより体系的に分類・整理し、読者の利便性を高める。

上記に加えて、本改訂版では、設計実務および施工計画を企画・立案する技術者が、圧入工法を採用すべき工法の選択肢の一つとして取り上げ、工法選択に関して公平な判断ができるように客観的かつ中立的な記述を心掛けています。

技術講習会 会場案内図



- JR博多駅より地下鉄空港線中洲川端駅で箱崎線に乗り換え、「箱崎宮前駅」下車。
1番出口から1分。
- 西鉄バスのご利用の場合、「箱崎バス停」下車。徒歩1分
- お車の場合は、会館裏のコインパーキング又は周辺の有料駐車場をご利用ください。

◇開催会場：福岡県教育会館 3F 第2会議室
〒812-0054 福岡市東区馬出4丁目12-22
Tel. 092-631-4600

◇ご用意頂くもの：筆記用具・マスクをお持ちください。

◇留意事項：新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、以下の対応を実施します。

【会場での対応】

- ・感染予防のため、講師・スタッフがマスク着用の上対応させて頂く場合がございます。
- ・受付に消毒液をご用意します。

【お願い】

- ・ご出席当日の体調をご確認の上、風邪のような症状のある場合は、ご参加を自粛いただくようお願いいたします。
 - ・ご出席時には、手洗い、マスク着用など感染予防に努めていただくようお願いいたします。
 - ・体調が悪くなられた場合は、無理をせず早めに申し出てください。
 - ・状況によっては、講習会の途中中断、中止の判断をさせていただく可能性がございます。
- 感染拡大防止のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以 上